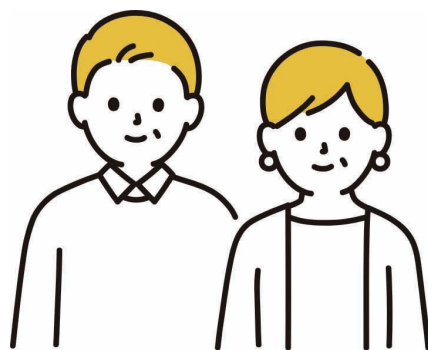


す ばしよ さいがい かんせんしょう かん とりくみ
住む場所や災害・感染症に関する取組

こうれいしゃ す ちいき
 高齢者が住みなれた地域
 あんしん く つづ
 で安心した暮らしを続け
 られるようにするため、
 こうれいしゃ む じゅうたく かくほ
 高齢者向けの住宅の確保
 にゅうきよ しえん
 や入居するための支援を
 すす
 進めます。

さいがい そな ひなん し
 災害への備えや避難の仕
 かた つか
 方などをわかりやすく伝
 えます。かんせんしょう はっせい
 感染症が発生し
 てもかんせん ひろ
 ても感染が広まらないよ
 うに、ただ よぼう ほうほう
 うに、正しい予防の方法
 つた
 を伝えます。

しょうかい とりくみ ほか
 これまで紹介した取組の他にも、
 こうれいしゃ く
 高齢者がいきいきと暮らすことが
 できるように、かずおお のことにと
 り組んでいきます。



けいかく し
この計画をもっと知りたいときは…

しら
 調べてみる

さがみはらし こうれいしゃ ほけん ふくし けいかく
相模原市 高齢者保健福祉計画



けんさく
 ネットで検索

き
 聞いてみる

さがみはらし けんこう ふくし きょく ちいき ほうかつ すいしん ぶ ちいき ほうかつ すいしん か
相模原市 健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課
 でんわ
 電話：042-769-9222 / ファクス：042-759-4395
 E-mail：houkatsucare@city.sagamihara.kanagawa.jp

れいわ ねんど
**令和6年度
 からの**

さがみはらの

こうれいしゃ ほけん ふくし とりくみ
高齢者保健福祉の取組

だい き こうれいしゃ ほけん ふくし けいかく ぼん
～第9期高齢者保健福祉計画・わかりやすい版～

けいかく
どんな計画なの？

こうれいしゃ ほけん ふくし けいかく さがみはらし す こうれいしゃ す
 高齢者保健福祉計画は、相模原市に住む高齢者が住みなれたまちで
 いきいきと暮らすことができるように、きほんてき もくひょう とりくみ
 基本的な目標や取組をまとめ
 たものです。

けいかく れいわ ねんど れいわ ねんど ねんかん
 この計画は、令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの**3年間**
 を計画の期間としています。

さがみはらし こんご
相模原市の未来は？

さい いじょう こうれいしゃ にんずう ふ
 ▶ **65歳以上の高齢者の人数がどんどん増えていきます**

れいわ ねん さがみはらし じんこう やく にん ひとり こうれいしゃ
 令和5(2023)年は、相模原市の人口の約**4人**に**1人**が高齢者ですが、

れいわ ねん さがみはらし じんこう やく にん ひとり こうれいしゃ
 令和22(2040)年には、相模原市の人口の約**3人**に**1人**が高齢者になります。

こうれいしゃ ささ さい さい にんずう へ
 ▶ **高齢者を支える15歳～64歳の人数がどんどん減っていきます**

れいわ ねん さがみはらし さい さい にんずう やく まんにん
 令和5(2023)年の相模原市の15歳～64歳の人数は、約**45万人**ですが、

れいわ ねん やく まんにん へ
 令和22(2040)年には、約**38万人**まで減ってしまいます。

この計画では、次の言葉をキャッチフレーズに
 さまざまな取組を進めていきます。

みんなで支え合い 地域の力が育む
 人にやさしいまち さがみはら



医療と介護・認知症に関する取組

医療と介護の両方を必要
 とする高齢者を支えるた
 め、自宅などの住み慣れ
 た場所で両方の支援を一
 緒にできる体制を整えま
 す。

認知症の人やその家族が
 自分らしく希望をもって
 暮らしていけるように、
 みなさんに認知症のこと
 を知ってもらいます。

介護予防・健康づくりに関する取組

日々の生活を送る上で、
 できなくなってしまった
 ことを、再びできるよう
 にするため、自分の力で
 元の生活を取り戻す支援
 を充実させます。

食べ物を食べたり、飲み
 物を飲んだり、しゃべっ
 たりするためのお口の機
 能が弱くなると、体の状
 態も悪くなるため、その
 対策を進めます。



介護サービスや介護人材に関する取組

高齢者の手助けなどをす
 る介護サービス事業所で
 働く人の負担が減るよう
 に、作業が楽になるシス
 テムやロボットを使える
 ようにします。

介護の仕事をしてみたい
 と思ってもらえるように、
 中学生や高校生に介護の
 仕事の魅力を伝えます。

社会参加・生きがいづくりに関する取組

高齢者が希望する仕事に
 就職したり地域の活動に
 参加したりすることがで
 きるように、コーディネ
 ーターを行い、社会参加を
 促します。

高齢者がいきいきと暮ら
 すことができるように、
 幅広い世代が交流できる
 場や高齢者が活躍できる
 場を増やします。



地域のつながりや相談支援に関する取組

ひとり暮らしの高齢者が
 増えていくため、地域の
 さまざまな人達がつなが
 り、協力しあって見守り
 活動ができるようにしま
 す。

親などを介護する家族の
 負担が減るように、日々
 の悩みを相談できる場所
 を充実させたり、リフレ
 ッシュしたりする時間を
 作れるようにします。